

平成28年度 指定管理者に対する評価シート

(1) 基本情報

①管理施設

施設名	裾野市スポーツ施設等
指定管理者名	シンコースポーツ・静岡ビル保善グループ
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年間)
評価期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
所管課	生涯学習課(992-3800)

②業務等の概要

業務概要	①スポーツ施設等の運営 ②施設及び設備の維持管理 ③自主事業の企画開催
施設の設置目的(目標)	市民の心身の健全な発達とスポーツの推進を図るため
利用状況の概要	【利用者数】 269,451人(前年度 191,889人) 内、市民体育館 84,285人(前年度 23,538人) ※平成27年7月～平成28年6月 改修工事の為、全館利用無し 内、運動公園 120,689人(前年度 101,515人) ※平成27年11月～平成28年3月 陸上競技場改修の為、利用無し 内、総合グラウンド 56,379人(前年度 58,943人) 内、水泳場 8,098人(前年度 7,893人) 【自主事業】 スポーツ教室 32教室開催(前年度13事業) 内、水泳場 1(前年度 1)
収支決算状況	【収入】 121,465千円(前年度100,928千円) 指定管理料 85,740千円(前年度 78,724千円) 利用料金 23,165千円(前年度 15,359千円) 自主事業 5,489千円(前年度 1,613千円) その他 7,071千円(前年度 5,232千円) 【支出】 119,236千円(前年度 96,359千円) 人件費・管理費等 106,998千円(前年度 89,300千円) 事業費 12,238千円(前年度 7,059千円)

(2) 評価

- ①指定管理者による自己評価(セルフモニタリング)
 - 次頁以降のとおり
- ②施設所管課による(モニタリング)
 - 次頁以降のとおり
- ③選定評価委員会による評価

平成28年度 裾野市スポーツ施設等におけるモニタリングチェックシート(年間評価)

評価項目及び評価基準	配点	自己評価	所管評価	参考書類
1 総合的な基本方針及び経営状況について				
・ 公共性、公平性を尊重し、平等な利用の確保が行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
・ 市民サービスの向上が行われているか	5	5	4	
・ 計画で定めた目標に向けて行われているか	5	4	4	
・ 健全な経営状況で運営が行われているか	5	4	4	
2 人員配置及び人材育成について				
(1) 施設を管理運営する上での組織構造について ・ 組織体制、勤務体制は効率的、円滑に行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 人員配置とその職能について ・ 管理運営に必要な人員及び資格や技能を満たす人材が配置されているか	5	4	3.67	
(3) 従業員への指導・研修方法について ・ 従業員への指導、研修方法等は適切であるか	5	4	4	
3. リスクマネジメントと危機管理について				
(1) 施設利用者に対するリスクマネジメントについて ・ 施設のリスクを分析し、適切な対応をしているか	5	4	4	セルフモニタリング書類、緊急連絡網等
(2) 災害時等の緊急時の対応について ・ 災害時等の連絡体制が確立しているか	5	4	4	
・ 業務員への周知徹底、研修・訓練が実施されているか	5	4	4	
4. 施設の運営と休館日について				
(1) 効率的な運営とサービス向上が行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類、実績簿等
(2) 休館日の設定は計画書どおりに行われているか	5	5	5	
(3) 個人情報の保護が適切に行われているか	5	4	4	
(4) 利用者の意見要望の把握に努めているか	5	4	4	
(5) 施設のPR・広報活動が行われているか	5	4	4	
(6) 利用者数や稼働率は目標を達成しているか	5	4	4	
5. 施設・設備の維持管理等について				
(1) 施設の点検及び維持管理補修は適切に実施されているか	5	4	3.67	セルフモニタリング書類等
(2) 施設清掃・植栽管理は実施されているか	5	3.33	3.33	
(3) 環境コストの低減策は実施されているか	5	4	4	
6. 施設の管理運営にかかる経費及び収支について				
(1) 利用料金設定の考えは適切に行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 収入確保は適切に行われているか	5	4	4	
(3) 管理コストの削減は適切に行われているか	5	4	4	
7. 自主事業(裾野市スポーツ祭10大会を除く)について				
(1) 市民や行政、関係団体と連携は適切に行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 障害者や高齢者に適切な事業は適切に行われているか	5	4	4	
(3) 成人病の予防あるいは疾病への対応は適切に行われているか	5	4	4	
(4) 市民のスポーツ推進を図る事業は適切に行われているか	5	5	5	
8. 市への連絡報告体制				
(1) 事業報告等の必要な報告や相談が適切に行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
9. その他				
(1) 裾野市スポーツ祭10大会を適切に運営したか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 計画書でのその他の提案事項について取り組んでいるか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
合 計	145	118	117	

- 優 秀 (5) : 特に優れている
- 良 好 (4) : 問題なく適正に行われている
- 普 通 (3) : 最低限の基準はクリアしている
- 不十分(2) : 更なる改善が必要
- 不 備 (1) : 根本的な見直しが必要

平成28年度 裾野市スポーツ施設等におけるモニタリングチェックシート(年間評価)

評価項目及び評価基準	配点	対象施設数	平均		体育館		運動公園・グラウンド		水泳場		参考書類
			自己評価	所管評価	自己評価	所管評価	自己評価	所管評価	自己評価	所管評価	
2(2) 人員配置とその職能について											
・管理運営に必要な人員及び資格や技能を満たす人材が配置されているか	5	3	4	3.67	4	4	4	3	4	4	報告書等
4. 施設の運営と休館日について											
(1) 効率的な運営とサービス向上が行われているか	5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 休館日の設定は計画書どおりに行われているか	5	2	5	5	5	5	5				
(6) 利用者数や稼働率は目標を達成しているか	5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	
5. 施設・設備の維持管理等について											
(1) 施設の点検及び維持管理補修は適切に実施されているか	5	3	4	3.67	4	4	4	3	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 施設清掃・植栽管理は実施されているか	5	3	3.33	3.33	3	3	3	3	4	4	

※3施設ごとに5点満点で採点する

- 優 秀(5) : 特に優れている
- 良 好(4) : 問題なく適正に行われている
- 普 通(3) : 最低限の基準はクリアしている
- 不十分(2) : 更なる改善が必要
- 不 備(1) : 根本的な見直しが必要

平成28年度 裾野市スポーツ施設等におけるモニタリング状況報告書(年間評価)

指定管理者(シンコースポーツ・静岡ビル保善グループ)による自己評価

1 総合的な基本方針及び経営状況について

評価内容
施設一般利用及び団体利用に関して、特定の個人・団体が便益を得るようなことのないよう条例に基づいた管理運営・利用許可業務を行っている。また自主事業に関しても、一般利用の妨げにならないよう稼働率の低い施設・時間帯にて開催をしている。その他、トレーニングマシンのリニューアルの際には、車イスの方でも利用できるマシンを数多く配置しバリアフリーを実現した。その結果、27年度に目標として掲げた「不平等に対する市民の苦情ゼロ」「利用料金収入の確保」に加え、28年度では「高齢者・障害者が利用制限をうけることのない施設」に関する目標を達成することができた。

2 人員配置及び人材育成について

評価内容
代表団体である「シンコースポーツ株式会社」が運営に関わる業務を担当し、構成団体である「静岡ビル保善株式会社」が施設の維持管理業務を担当。 配置については、「裾野市スポーツ施設等」全体の「総括責任者」の下に、「市民体育館等責任者」「運動公園等責任者」「施設維持管理責任者」を配置し、その施設の担当業務チーフが各ユニットメンバーをマネジメントする組織体制としている。 再雇用の確保については、昨年度雇用した人材を引き続き雇用している。 人材育成については、接客研修、トレーナー研修、個人情報保護研修、防災・救急訓練等を適時行う事で、裾野市の代行者である上での必要なスキルを習得している。維持管理面においては、芝生管理専門会社を招き、現地にて研修・指導を行いスキルアップを図っている。

3 リスクマネジメントと危機管理について

評価内容
「裾野市地域防災計画」などを踏まえた「裾野市スポーツ施設安全管理マニュアル」を策定し、運用している。また消防訓練・避難訓練を法定に沿って年度内に2回(5月・1月)に加え、自主的に訓練を1回(9月)実施し、年3回実施した。またスタッフの知識や技術向上のため、救急救命講習への参加や心肺蘇生法・AEDの取扱いに関する研修を実施した。 災害時に備え、館内・園内には、「災害救援ベンダー」タイプの自動販売機を非常用備蓄として配備している。 業務で取扱う金銭＝公金であるという認識の下、金銭トラブル防止として、両施設に自動入金機を導入し、リスク軽減を図っている。 通常業務時には、事故・トラブル発生の防止・被害抑制対策として、スタッフによる定期的な施設巡回、注意喚起の張り出し・更新、簡易修繕等を実施した。

4 施設の運営と休館日について

評価内容
効率的な運営として、体育館では当グループ管理以前は、大会やイベント時に駐車場の関係で施設の利用を制限していたが、近隣のいずみ幼稚園に協力をして頂くことで、車両の混雑緩和を実現し、利用制限することなく、市民の方へ施設を開放することが出来た。またトレーニング講習会開催時には、講習会参加者以外の利用を制限していたが、講習会の運用方法の見直しを行うことで、利用の制限することなく多くの方にご利用いただける環境を整えた。 休館日は、体育館＝第2月曜日、運動公園＝毎週月曜日から第3月曜日と開館日の増加を行っている。その為、市内のどこかの施設は開館している環境とし、市民がいつでも運動できる環境を整えている。 利用者要望の把握として、意見箱設置の他新たに覆面調査(利用者になりすましての調査員)を導入することで、生の声を現場に反映し、接客接遇への改善に努めた。 施設のPR広報活動として、市民広報誌の活用、折込チラシの他裾野市スポーツ施設のHPやFacebookページを運用し、幅広い世代で広域に渡って周知している。

5 施設・設備の維持管理等について

評価内容

維持管理責任者を中心に日常点検・自主点検を行うことで、現場と現物を常に確認し維持管理に努めた。また、年間維持管理計画を基に法定点検および各種点検業務を遂行した。

日常清掃においては、大会やイベント前後等繁忙期に、観覧席や大会関係諸室等の清掃を確実かつ効率的に行うための増員体制を構築した。また植栽においてもイベント前などは入り口周辺など再度作業を実施し美観向上に努めた。

大会で使用が多くなる陸上競技場、野球場などについて、使用後にメンテナンスすることで最良の状態を提供できるよう努力した。

芝生管理においては、使用頻度が高く養生期間が足りなかったことに加え、予算の兼ね合いもあり、芝生の状態を向上させることが困難であった。現状を踏まえ作業内容を再度見直し状態回復に努めた。

6 施設の管理運営にかかる経費及び収支について

評価内容

施設利用料金については、指定管理以前と同様の料金にて徴収をしている。施設の稼働率等を考慮し、空き施設・低稼働施設で自主事業を行うことで、新たな収入確保を行った。

管理コストの削減として、昨年に引き続き電気使用量が多い箇所に対しては、新電力(PPS)の導入をし、電気料金の削減(通常請求の20%程)をしている。

事務用品・消耗品等については、当グループによる集中購買などにより安く納入し、経費削減を図っている。

修繕に関しても、こまめな簡易修繕を施すことで大規模修繕に繋がるのを未然に防いだ。

7 自主事業(裾野市スポーツ祭10大会を除く)について

評価内容

裾野市スポーツ協会及び加盟団体を支援し、行政を含めた利用調整を行い、一般利用に支障がない(平等性を欠かない)範囲で施設を優先的に貸出している。

体育館事務所内に裾野市スポーツ協会専用の活動スペースを提供し、継続的な活動を支援している。

障害者や高齢者に適切な事業として、トレーニングマシンの設備投資(車イス対応)、高齢者向けの教室の開設(生き生き健康教室)を実施している。

成人病の予防として、インボディー測定器(体組成測定)を活用したイベントを実施した。

市民スポーツの推進を図る事業として、稼働率の低い時間帯でのスポーツ教室の展開や各種イベントの開催、トップアスリートによる講習会などを開催し、多くの市民の方への健康増進を図った。

スポーツ教室はエアロビクスなどの自由教室を含め、全32教室を開講した。なかでも兼ねてより平日の夜間に自由教室を開催してほしいとの要望を反映し、新たに2教室を夜間に開設し、利用者からは好評を得ている。

8 市への連絡報告体制

評価内容

市への連絡報告体制として、基本協定書で定めた日程での月次報告、四半期報告、年次報告を的確に行った。また、自主的な報告として毎月の維持管理点検報告を提出し、不具合箇所の共有を図った。また更なる連携強化として、四半期報告会・年度報告会を実施した。

トラブル発生時・緊急修繕時には随時報告・相談を行うことで、利用者に影響の無い迅速対応を行うことが出来た。

スポーツ祭などの大会運営時には、行政を交えて打合せを行うことで、大会運営に支障をきたさない運営が実現した。

9 その他

評価内容

28年度も市民スポーツ祭については、市民(参加者)の混乱・不満発生を防止するため、開催時期・会場・参加料等に関しては、入念に関連団体との協議を行うことで、支障なく運営できた。また裾野市スポーツ協会・裾野市スポーツ推進委員・裾野市生涯学習課との協力・連携を密に行うことで、10大会を滞りなく開催ができた。また駅伝大会などの人数を多数要する際には、当グループが管理している近隣施設より運営人員を補充することで、急な欠員等にも十分対応できる体制を整えている。

年間目標を達成するために、PDCA手法を導入し、「目標設定＝結果」の確認を毎月スタッフ一同で行い、「新たな方策・目標」を適時、導入することで利用者満足度向上を図り、耐震工事に影響の無い施設での利用者の増加を実現した。

(総合評価)

1 指定管理により、充実・改善・向上したサービス

評価内容
①公衆無線LAN環境の整備(市民体育館1階スペース設置) ②こども遊び場コーナーの設置(市民体育館1階スペース設置) ③スポーツチーム応援ツアーの実施(清水エスパルス戦) ④トレーニング室マシンリニューアル ⑤機会損失の防止(ランニングマシン等の予備機準備) ⑥専門スタッフの配置(健康運動指導士、トレーナー等の配置) ⑦トップアスリートによる講習会(元バドミントンプロ選手 池田信太郎氏招致) ⑧トレーニング講習会の拡充(月2回⇒月10回へ) ⑨サークルラウンジ・コミュニティ掲示板の活用(運動公園管理棟内に設置) ⑩利用登録のマルチ化(ネット予約を運動公園でも可能に整備) ⑪施設パンフレットの発行(運動公園トラック改修等に伴い更新・英訳追加) ⑫スポーツ観戦チケット利用者サービス(プロ野球観戦チケットプレゼント) ⑬学校部活動の支援(認知動作型マシン教室 中学クラスを開設) ⑭高齢者スポーツ教室の拡充(体育館スポーツ教室「生き生き健康教室」開設) ⑮市内各地への出張健康づくり指導(トヨタ自動車東日本(株)職員への健康指導を実施) ⑯障害者アスリート支援(自販機売上の一部を静岡県障害者スポーツ協会へ毎月寄付し、アスリート支援を実施) ⑰体育館更衣室コインシャワーの無償化サービス

2 今後の業務改善に向けて、検討・調査が必要な事項

評価内容
①運動公園芝生施設の利用制限・養生期間について(検討事項) 対象:陸上競技場・野球場・やすらぎの広場 ②深良グラウンド 土壌改善について(調査) 雨天後のグラウンド不良改善(水の通り道跡)・地中にある石の除去

3 上記のほか特記事項

評価内容
・平成29年7月1日(土)市民体育館リニューアル1周年記念事業 北京オリンピック金メダリスト「水鳥寿思」氏による体操イベント ・更なる電気料金削減の為、契約方法の見直しを実施予定(PPS=新電力)

平成28年度 裾野市スポーツ施設等におけるモニタリング状況報告書(年間評価)

生涯学習課評価

1 総合的な基本方針及び経営状況について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・条例、協定、仕様書等に基づいた施設運営が行われた。・市民サービス向上に向けアイデアに富んだ自主事業が行われ、施設稼働率の向上にもつながった。・自社で目標を設定し、取り組んでいた。 総合的な基本方針及び経営状況については、良好であった。

2 人員配置及び人材育成について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・グループの「シンコースポーツ株」が運営に関わる業務を、「静岡ビル保善株」が施設維持管理業務を担当。・繁忙期の対応や有資格職員について、近隣の同グループ指定管理施設を含めて流動的に人員を配置するなど、スケールメリットを生かした人員配置を行った。・従業員に、接遇、危機管理、個人情報保護、トレーニングマシンなどの研修を行った。・人員配置及び人材育成については、自主事業や安全管理部分については人員数及び資質の面で良好であった。一方で施設の維持管理部分に関して、一般的な施設管理は良好であるものの芝生の管理など専門的業務では十分な技術・経験・人員配置がない部分が見受けられ、専門業者からの助言を受けながら作業内容を見直し、業務を行った。 人員配置及び人材育成については、一部改善の余地があるものの、全体的に見て良好であった。

3 リスクマネジメントと危機管理について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・「裾野市スポーツ施設安全管理マニュアル」を独自に策定し、運用した。・従業員に危機管理や個人情報保護の研修を行った。・消防訓練・避難訓練を年3回行った。 リスクマネジメントと危機管理については、良好であった。

4 施設の運営と休館日について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・いずみ幼稚園の駐車場を借用することで、大会等の混雑時、またリニューアルにより増加したトレーニング室利用者の施設利用に対応した。・休館日は例規で毎週月曜などとしているところ、指定管理者の提案により毎月1日間の休館として開館日を増やすことで、より利用しやすい施設となった(平成27年度から引き続き実施)。・年間を通して利用者アンケートを行い、要望等を運営に反映しサービス向上につとめた。 例:スポーツ教室の開催時間の変更、運動公園の駐車場白線の更新 など・以前は無人であったトレーニング室に有資格職員を常駐させ、運動指導や安全管理を行い、利用者から好評であった。 施設の運営と休館日については、良好であった。

5 施設・設備の維持管理等について

評価内容

- ・年間を通して、必要な保守点検を行った。
 - ・市民体育館の改修に合わせ、指定管理者の提案により、老朽化したトレーニングマシンをリースで更新した。改修前と比べ、トレーニング室利用者が1日あたり約2.5倍に増加した(H27→39.3人、H28→99.7人)。
 - ・運動公園など施設の老朽化に伴う不具合について、大規模修繕が行えない状況下でも、現場スタッフによる創意工夫により悪影響を最小限に収めていると推察される。
 - ・運動公園の芝生については、経年及び利用の負荷により状態の悪化が見られた。管理について十分な技術・経験・人員配置がない部分が見受けられ、専門業者からの助言を受けながら作業内容を見直し状態回復に努めた。
- 施設・設備の維持管理等の状況は、一部改善の余地がある。

6 施設の管理運営にかかる経費及び収支について

評価内容

- ・空き施設を利用した自主事業を行うことで、利用者数の増加及び収益確保を図った。
 - ・市民体育館改修による施設自体の省エネ化に加え、平成27年度からの電力のPPS導入や、照明をこまめに照度調整するなど運営面の工夫により光熱水費の節減に努めた。
 - ・小規模な修繕は現場スタッフが施工することで経費節減を図った。
 - ・2,229千円の収益を上げた。
- 施設の管理運営にかかる経費及び収支については、良好であった。

7 自主事業(裾野市スポーツ祭10大会を除く)について

評価内容

- ・施設利用面で市スポーツ協会及び加盟団体の支援を行った。
 - ・市民体育館改修に合わせてトレーニングマシンをリースで更新した。また新たに導入された認知動作型トレーニングマシンの活用も行われた。
 - ・市民サービス向上に向け、スポーツ分野から健康づくり分野まで、子どもから高齢者まで、幅広い層を対象としたアイデアに富んだ自主事業が行われ、施設稼働率の向上にもつながった。
 - ・トップアスリートによる講習会を開催し、ほんものどふれあう学習機会を提供した。
 - ・市内企業からの依頼により、健康運動指導士による出張指導を行った。
- 自主事業については、優秀であった。

8 市への連絡報告体制

評価内容

- ・基本協定及び仕様書に基づき、年度の事業計画書、月次報告書、四半期報告書、及び年次報告書の提出が、期限内に行われた。
 - ・施設・設備の維持管理に関して、月次点検報告を提出し、状況把握の共有化が図られた。
 - ・各施設の責任者及び、上位の管理責任者を交えた四半期ミーティングを、平成28年度第3期分から行った。
- 市への連絡報告体制については、良好であった。

9 その他

評価内容

- ・市スポーツ祭について、市や市スポーツ協会等々と連携してスムーズな運営を行い、参加者から好評であった。
- ・新成人者祝賀駅伝大会では、混雑解消のため当初の予定よりもバスの到着時間を早めるなど、よりよい運営への努力が見られた。
- ・市民体育館改修による休館期間から、滞りなくリニューアルオープンに移行し、新たな自主事業・サービスの導入とあいまって利用者から好評をもって迎えられた。

(総合評価)

1 指定管理により、充実・改善・向上したサービス

評価内容
①公衆無線LAN環境の整備(市民体育館1階スペース設置) ②こども遊び場コーナーの設置(市民体育館1階スペース設置) ③スポーツチーム応援ツアーの実施(清水エスパルス戦) ④トレーニング室マシンリニューアル ⑤機会損失の防止(ランニングマシン等の予備機準備) ⑥専門スタッフの配置(健康運動指導士、トレーナー等の配置) ⑦トップアスリートによる講習会(元バドミントンプロ選手 池田信太郎氏招致) ⑧トレーニング講習会の拡充(月2回⇒月10回へ) ⑨サークルラウンジ・コミュニティ掲示板の活用(運動公園管理棟内に設置) ⑩利用登録のマルチ化(ネット予約を運動公園でも可能に整備) ⑪施設パンフレットの発行(運動公園トラック改修等に伴い更新・英訳追加) ⑫スポーツ観戦チケット利用者サービス(プロ野球観戦チケットプレゼント) ⑬学校部活動の支援(認知動作型マシン教室 中学クラスを開設) ⑭高齢者スポーツ教室の拡充(体育館スポーツ教室「生き生き健康教室」開設) ⑮市内各地への出張健康づくり指導(トヨタ自動車東日本(株)職員への健康指導を実施) ⑯障害者アスリート支援(自販機売上の一部を静岡県障害者スポーツ協会へ毎月寄付し、アスリート支援を実施) ⑰体育館更衣室コインシャワーの無償化サービス

2 今後の業務改善に向けて、検討・調査が必要な事項

評価内容
・運動公園芝生の維持管理について、維持管理作業の内容・体制及び、利用と休養のバランス(利用制限等)を検討。 ・施設の中長期的な修繕計画について検討。

3 上記のほか特記事項

評価内容
創意工夫のある前向きな運営を行い、市民サービスの向上に努めた。